

- 柵間からの漏れ出しを予防するとともに、柵本体まで金網を展開することで、梁間からのすり抜けも予防することができます。

▶ 安全性の向上

- 新設だけではなく、既設の雪崩予防柵に後付けすることも容易です。

▶ 高い汎用性

- 柔軟性が高い金網を使用することにより、起伏や段差がある斜面にも設置することができます。

▶ 施工性の向上

- 鋼材やアンカーの使用を最小限にすることで、安価に施工することができます。

▶ 経済性の向上

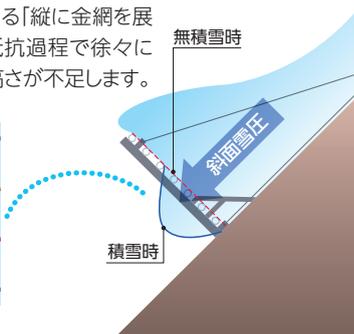
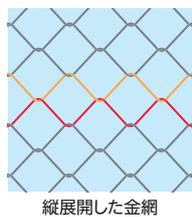


Moretto《モレット》は、高強度の金網を「縦展開・横展開」に重ね合わせることで「斜面雪圧」と「沈降圧」に抵抗し、柵間からの漏れ出しを確実に防ぐことができます。

【通常のひし形金網を単純に柵間へ設置した例】

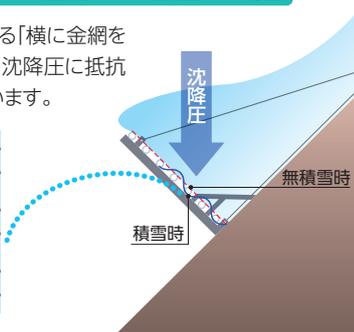
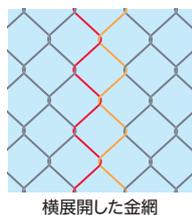
沈降圧に強い縦展開をした金網のみを設置した場合

金網の列線が水平方向である「縦に金網を展開した場合」、斜面雪圧の抵抗過程で徐々に金網が膨らみ、柵間の必要高さが不足します。



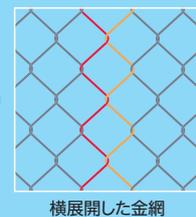
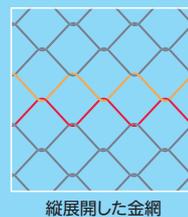
斜面雪圧に強い横展開をした金網のみを設置した場合

金網の列線が垂直方向である「横に金網を展開した場合」柵上部からの沈降圧に抵抗できずに金網が潰れてしまいます。



新製品 Moretto《モレット》

Moretto《モレット》は、高強度金網を独自の展開方向と接続方法により「斜面雪圧」と「沈降圧」に抵抗します。

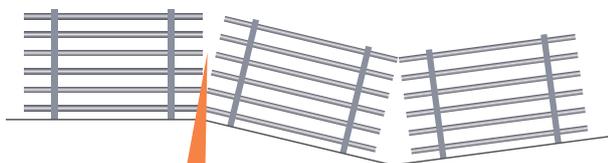


Moretto《モレット》の特長

従来工法

1

柵間を0mとし、漏れ出しを防止した場合



斜面の起伏により隙間が生じてしまうため、完全な「漏れ出し対策」にはなりません。

2

柵間に漏れ出し防止柵を設置した場合

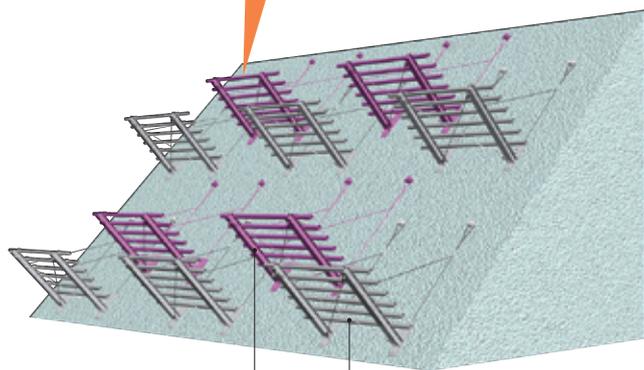


新たに柵やアンカーを使用するため、不経済となります。また隙間が生じるため、完全な「漏れ出し対策」にはなりません。

3

上下の柵の列間に新たに漏れ出し対策用の柵を設置した場合

柵およびアンカーが2倍近く必要となるため、不経済となります。

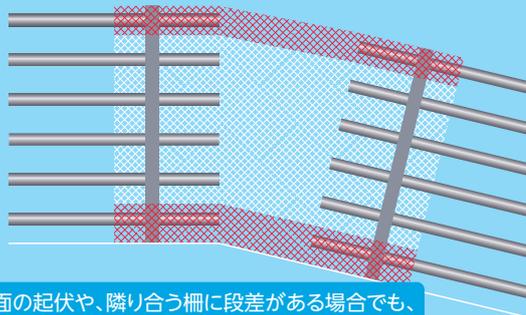


漏れ出し対策用の追加柵

従来配置柵

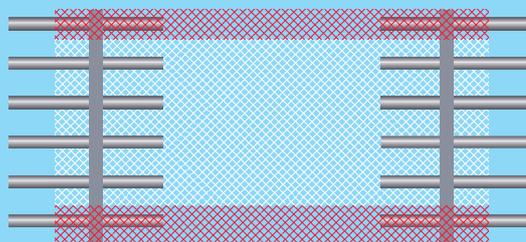
新製品 Moretto《モレット》

Moretto《モレット》を起伏のある斜面に使用した場合



斜面の起伏や、隣り合う柵に段差がある場合でも、施工性が高い「モレット金網」を使用することで、確実な「漏れ出し対策」が可能です。

Moretto《モレット》を柵間に使用した場合



新たな柵やアンカーを必要としないMoretto《モレット》は、経済的で確実な「漏れ出し対策」ができます。

Moretto《モレット》その他の特長

- 雪圧等の強度照査は不要です
柵間の荷重(雪圧等)は「辺縁効果」により柵本体の強度照査で完結しているため、特別な強度照査は不要です。
- アンカーは不要です
柵間に新たに「支柱」を設置しない構造であるため、アンカーは不要です。
※積雪条件、柵高などにより必要とするケースがあります。
- 金網を使用しているため、^{たわ}撓みます
適度な「撓み」が柵本体への負担を軽減し、一体化となる役目を果たします。また、撓みの程度は現場の条件により異なります。

※Moretto《モレット》は全ての条件で梁間からの「すり抜け」対策も可能です。

商標について:Morettoは東京製網株式会社の登録商標(登録6362974)です。

 東京製網株式会社

エンジニアリング事業部 札幌支店

〒060-0807 札幌市北区北七条西5-5-3(札幌千代田ビル)

TEL.(011)726-3210 FAX.(011)726-3215

URL <https://www.tokyorope.co.jp>

カタログ <https://www.tokyorope.co.jp/product/eg>

 北海道トーカー株式会社

本社 〒060-0807 札幌市北区北七条西5-5-3(札幌千代田ビル)

TEL.(011)726-3185 FAX.(011)726-3215

URL <http://hokkaido-toko.tokko-techno.com/>